



2014年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアムwebニュース
2014年1月21日号

●2014年 新年ご挨拶

スーパー連携大学院コンソーシアム 会長
梶谷 誠



あけましておめでとうございます。

スーパー連携大学院は4年目を迎えました。文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」としても、3年目に入ろうとしています。

スーパー連携大学院は産学官が協力・協働して人材育成を行おうとする試みで、特に、社会が必要としているリーダー、イノベーションに挑戦する博士を生み出そうという意欲的な取組です。

スーパー連携大学院のカリキュラムも年々充実をし、改良を重ねてきました。すでに博士後期課程で博士研究に着手した第1期生も2名おられます。4月からの進学者も予定されています。まだまだ人数的には少ないのですが、徐々に増やして、後期課程の在籍者が1学年10名程度となることを願っています。

さて、我が国の社会経済状況は、一頃より明るさを取り戻した感がありますが、勢いは感じられません。さまざまな場面での閉塞感は依然として払拭されていません。しかし、確実に言えることは、どんな場合でも人、人材が頼りだということです。

一人一人の立場になれば、将来が不透明な社会であればあるほど、各自の可能性を高めておくことが強さになります。イノベーション博士は常に新しい局面を開ける強さを保証することを目指しています。

1000兆円を超える借金を抱え、東日本大震災の傷も癒えず、原発の後始末の見通しも立たない日本を立て直し、元気な日本を取り戻すことができるのは、若者たちです。若い人たちに思う存分力を発揮してもらわねばなりません。そのためには、若い優れたリーダーが必要です。彼らに、多様な分野で活躍してもらわねばなりません。全国の各地域でも、リーダーになってもらわねばなりません。

自らの力を思い切り発揮したい人、自分の力で新しい世界を切り開きたい人、自分の力で日本を、人類を救いたい人、自分の力で社会を、世界を驚かせたい人、スーパー連携大学院に参加しませんか？ スーパー連携大学院で学んで世界に飛躍してください。